

2023年 1 月20日

No. 6 3 7

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発 行 人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電 話 (024) 573-0515
F A X (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊 藤 純 一
印刷所 (株) 第 一 印 刷



新年のごあいさつ

公益社団法人福島県畜産振興協会
福島県畜産関係団体連絡協議会
会 長 紺 野 宏



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は当協会の業務推進につきまして格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、流行を繰り返し依然として収束する状況にはなく社会経済情勢が不安定なまま新年を迎えました。

畜産業界におきましても、インバウンドや外食産業の需要はなかなか回復せず、さらにロシアによるウクライナ侵略や円安の影響などにより配合飼料価格をはじめ多くの原材料価格が高騰する一方で、子牛価格は暴落を続け、生産者の努力だけではどうにもならない大変厳しい状況にあります。

国、県による財政対策として、飼料対策をはじめ緊急的に様々な経営支援対策を講じていただいておりますが、長期化すると思われる今の厳しい畜産情勢に対しては、より手厚い継続的な支援を希望するところです。

また、昨年11月及び12月に本県養鶏場で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザは、養鶏生産者はもとより本県畜産業界へ与えた衝撃は大きく、一日も早い収束とこれ以上発生することがないように切に願うばかりです。

当協会といたしましては、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病の発生及び流行防止のため各団体及び協議会による防疫体制の強化を図り、家畜防疫・衛生指導対策事業の一層の推進をはじめとした家畜衛生事業の充実を図ってまいります。

東日本大震災から11年が経過し、復興・再生が着実に進んでいるところと、いまだ途上にあり多くの課題を抱えているところがあります。特に風評を払拭することは難し

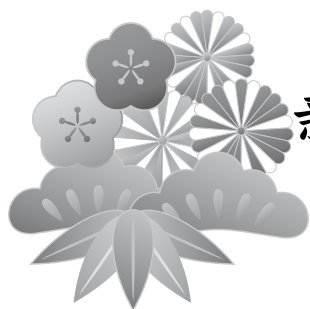
く、適正な価格で流通されない状況が今もなお続いています。まして原発処理水海洋放出が、新たな風評を招くようなことがあってはなりません。復興には、まだまだ時間がかかることから十分な財源のもと夢と希望を抱いて安心して経営できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していく必要があります。

そのような中、昨年鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会において、本県高校生をはじめ若い担い手の方たちが活躍したことは、大きな刺激と希望になったことと存じます。

当協会では、担い手が活躍し本県畜産が発展していくため、国や県等関係機関・団体と連携し、畜産経営基盤の強化とさらなる畜産振興の各種事業を実施するとともに復興に向けての支援事業等に取り組み、皆様方とともにこの難局を乗り越えていくことができるよう心から願っておりますので、本年もご支援、ご指導を賜りたくよろしくお願いいたします。

結びに、厳しい情勢に打ち勝ち本県畜産が躍進する年になりますよう、また、皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。





新年の御挨拶

福島県農林水産部長
小 柴 宏 幸



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より本県の畜産振興に特段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災・原子力災害以降、本県の畜産業は、牛や原乳の出荷制限の解除、避難指示解除地域での営農再開など、復興・創生に向けた歩みを着実に進めてまいりました。

一方で、根強く残る風評に加え、長引く新型コロナウイルス感染症の影響、不安定な世界情勢による世界的な物価の上昇に伴う飼料価格の高騰等により、畜産経営は大きな打撃を受けており、県では、配合飼料や輸入粗飼料の購入にかかる生産者負担の一部を支援するなど、皆さんが安心して経営を継続出来るように取り組んでいるところです。

また、昨年10月には、和牛のオリンピックと言われる「第12回全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催され、全国各地の優秀な和牛が一堂に会し盛り上がりを見せました。本県は三つの区で優等賞を獲得するなど優秀な成績を収め、本県の改良能力の高さと力強い復興の姿を全国に発信することが出来ました。これもひとえに、長期間に渡り準備され、大会に臨まれた生産者をはじめ関係者の皆様のたゆまない努力のたまものであり、これからの本県畜産業の発展を実感させるものでありました。

今年は、昨年4月にスタートした福島県農林水産業振興計画に掲げた『『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村の実現』に向けて、AI肉質診断技術を活用した肉用牛の飼養管理技術の向上を始め、肥育農家への優良素牛の導入や中核的な酪農経営体の増頭への支援、飼料の安定生産及び効果的な供給体制の確立に向けた飼料生産組織（コントラクター）の機能強化、マスメディ

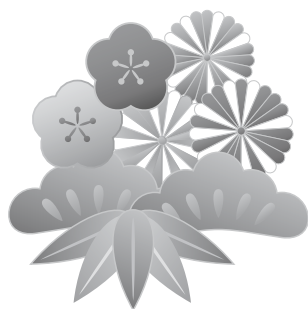
アやオンラインストア等を活用した畜産物の販売促進などに取り組み、本県畜産のさらなる生産基盤の強化とブランド力の向上を図ってまいります。

家畜衛生につきましては、今シーズンは、高病原性鳥インフルエンザが10月に岡山県の養鶏場で確認されて以降、全国各地で発生が相次ぎ、予断を許さない状況が続いたところ、本県においても昨年11月に本県初となる養鶏場における高病原性鳥インフルエンザが発生し、12月には2例目が発生するなど、緊迫の一年となりました。初めての発生ではありましたが、関係者の皆様の御協力により、1月2日の移動制限解除により防疫措置を完了することが出来ました。引き続き、発生の未然防止に万全を期するため、消毒の実施を含めた飼養衛生管理基準の遵守を徹底するなど、防疫体制のさらなる強化のため、皆様の御協力をお願いいたします。

県といたしましては、今後とも、安心して畜産経営を継続できるように様々な政策を講じてまいりますので、生産者の皆様には各種事業等を効果的に活用していただきながら、畜産生産基盤の強化と経営の持続的発展に取り組んでいただくとともに、関係機関・団体の皆様方には、引き続き各種施策の推進に、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本県畜産業の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。





年頭の御挨拶

農林水産省東北農政局福島県拠点 地方参事官 山 本 真 也

明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎えるに当たり、年頭の御挨拶を申し上げます。

高病原性鳥インフルエンザ発生シーズンを迎え、昨年10月28日、岡山県で全国1例目が発生して以来、北から南まで全国的に発生が確認されています。

福島県では、11月に初めて発生が確認され、12月には2例目の発生があり、関係者の皆様の事態終息に向けた御尽力に厚く感謝申し上げます。

政府は、今シーズンの発生状況を踏まえて12月22日に関係閣僚会議を開催し、政府一丸となって対応に万全を期すことを確認しました。農林水産省は今後も各都道府県と緊密な連携を取りながら、緊張感を持って対応してまいります。生産者の皆様におかれましても、今一度、飼養衛生管理の徹底をお願いします。

○ 飼料価格高騰について

長期化する新型コロナウイルスの問題や昨年2月からのロシアによるウクライナ侵略、円安の進行などにより、我が国の畜産業は甚大な影響を受けました。

ロシアによるウクライナ侵略の影響でとうもろこし等の飼料穀物の国際価格が上昇したほか、円安の進行などにより配合飼料価格が高騰しました。そのような中、農林水産省は、補正予算や予備費により配合飼料価格安定制度における異常補填基金への積み増しを行い、飼料価格の急激な上昇の影響を緩和したほか、9月には同制度の外で、予備費により飼料コスト上昇分を補填する緊急対策を実施しました。

また、酪農については、他の畜種に比べ、購入粗飼料等の給与量や購入額が大きく、これらの価格高騰等により経営が大変厳しい状況にあったことから、予備費により国産粗飼料の利用拡大を図るための緊急対策も講じました。

引き続き、これらの対策を着実に実施するとともに、畜種ごとの経営安定対策や金融対策など、各種施策を総合的に活用しながら、生産者の皆様が経営継続していけるよう、支援してまいります。

○ 食料安全保障について

ロシアによるウクライナ侵略等の影響で食料安全保障上のリスクが高まっている中、飼料の自給率は25%と輸入に依存

しており、価格高騰や供給不安のリスクがあることから、輸入飼料への過度な依存から脱却し、国内の飼料生産基盤に立脚した足腰の強い畜産物生産へと転換することが重要です。

農林水産省は、飼料自給率を令和12年度に34%に引き上げることを目標として、水田を活用した飼料用とうもろこし等の生産拡大、地域の飼料生産を担うコントラクター等の飼料生産組織の機能強化、食品残さ等の未利用資源を活用した飼料（エコフィード）の利用拡大などの取組を推進するほか、契約に基づき耕種農家が生産した飼料を畜産農家が利用する持続的な耕畜連携の取組等を支援し、国産飼料の一層の増産と着実な利用の拡大を推進してまいります。

また、化学肥料原料についても、中国を始めとする主要輸出国からの供給が不安定となるなど、食料安全保障上のリスクが高まっていることから、海外からの輸入肥料原料への過度な依存を低減し、家畜排せつ物由来堆肥等の国内資源の利用拡大による肥料の国産化・安定供給を図ることが喫緊の課題です。

このため農林水産省では、畜産部門、耕種部門、肥料業者等が連携して取り組む、堆肥等の高品質化・ペレット化など、広域流通等に必要な施設整備や圃場での効果検証、機械導入等の取組を支援します。

○ 東日本大震災・原発事故からの復旧・復興

原発事故に関して、安全な畜産物を供給するため、適切な飼養管理の徹底と検査体制の強化、草地の放射性物質吸収抑制対策と汚染廃棄物の処理等を関係省庁等と連携して推進するとともに、「食べて応援しよう！」のキャッチフレーズの下、被災地及び周辺地域で生産・製造されている農林水産物の積極的な消費拡大を促進しております。本年も、生産者が一日も早く営農再開を果たせるよう、引き続き取り組んでまいります。

農林水産省としては、畜産・酪農の生産基盤の強化に向けた対策を着実に実施するとともに持続的な畜産物生産を推進することにより、厳しい状況を打破できるよう、我が国の畜産・酪農の一層の発展に努めてまいります。福島県拠点は東北農政局関係部署とワンチームとなって、県内の幅広い関係者の理解と支持を得られるよう注力します。

皆様方の一層の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

第12回 全国和牛能力共進会について

令和4年10月6日から10日までの5日間にわたって種牛会場である霧島市牧園町と肉牛会場の南九州市知覧町のJA食肉かごしま南薩工場を会場に第12回全国和牛能力共進会最終比較審査が開催されました。

「和牛新時代 地域かがやく和牛力」を開催テーマに掲げた本大会に北海道から沖縄まで、過去最多となる41道府県から種牛の部に248頭、肉牛の部に166頭、特別区24頭の438頭が集結し、5年間の改良成果を競いました。

今回の全共出品参加にあたり、福島県としての取り組みは、平成30年から第11回全共での改題を整理し、第12回全共への土台作りを行い、令和元年に「新たな時代を駆け抜けろ 福島牛 今 躍進!」をスローガンに掲げ、各区の出品対策を行い令和4年7月と8月に福島県代牛を選抜し、種牛の部11頭、肉牛の部7頭、出品者18名、和牛審査競技会参加者2名の精鋭をもって最終比較審査会場へ挑みました。

公益社団法人全国和牛登録協会福島県支部

最終比較審査会場では、出品者全員一丸となって日頃の飼養管理や調教の成果を発揮しており、出品者のサポートが影となり支えた若い技術員や出品協力者の体制も素晴らしく、次回全共へ向けての原動力になる事が期待されます。

また、優良な和牛を正しく評価・選定を目的とした和牛審査競技会高校学校の部において、福島県代表の県立磐城農業高校学校の岡部美知留さんが、最優秀賞となり、同じく女性・後継者の部に参加の渡辺恋音さんが優秀賞となり、輝かしい成績を残されました。

平成30年から第12回全共への出品対策や最終比較審査まで、多くの会員、関係機関と各JAの方々に協力を頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

次回の第13回全共は、北海道での開催が決定しており、今大会での課題を整理し、全国の舞台で福島牛が躍進できるように取り組んで参ります。



●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本 社

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

第12回 全国和牛能力共進会 福島県入賞一覧

種牛 肉牛	区	名 号	血 統		出品者		入賞結果
			父	母 の 父	県・JA 名	出品者住所	
				祖母の父		出 品 者 名	
種牛 出品区	第1区 (若雄)	福匠勝	勝隼茂	勝忠平 平茂晴	福島県	福島市荒井 県農業総合センター畜産研究所	優等賞
	第2区 (若雌の1)	やどのこと 703	勝忠安福	安福久 勝忠平	ふくしま未来	二本松市茂原 齋藤 正剛	1等賞
	第3区 (若雌の2)	ぼたん	勝忠安福	百合茂 美津福	夢みなみ	石川郡石川町 緑川 幸一	1等賞
	第4区 (繁殖雌牛群)	りおん	美国桜	勝忠平 平茂勝	福島さくら	郡山市中田町 宗像 勝彦	1等賞
		れんかの2	幸紀雄	安福久 平茂晴		双葉郡葛尾村 株式会社 牛屋	
		ひろみ	幸紀雄	安福久 平茂勝		田村郡三春町 過足 重治	
	第6区 (総合評価群・ 種牛)	かつ 13	勝忠安福	百合茂 安福 165 の 9	福島さくら	田村市船引町 鈴木 新一	1等賞
		きよ 209	勝忠安福	百合茂 安福久		田村市常葉町 浦山 公利	
		あまちゃん 31	勝忠安福	美津照重 安福久		田村市船引町 吉田 辰男	
		はるか 103	勝忠安福	美津照重 安福久		田村市常葉町 (株)JA 和牛ファーム福島さくら	
肉牛 出品区	第6区 (総合評価群・ 肉牛)	小林 2054	勝忠安福	徳悠翔 勝忠平	ふくしま未来	安達郡大玉村 鈴木 廣直	1等賞
		忠久	勝忠安福	安福久 百合茂		二本松市岳東町 上野 広行	
		花 480	勝忠安福	徳悠翔 隆之国	会津よつば	喜多方市塩川町 (株)湯浅ファーム	
	第7区 (脂肪の 質評価群)	東西 224	勝平安	茂洋 糸福	ふくしま未来	安達郡大玉村 鈴木 廣直	1等賞
		富士照平安	勝平安	美津照重 耕富士		二本松市岳東町 上野 広行	
		勝勝北久	勝平安	諒太郎 北平安		南相馬市原町区 門馬 美貴	
	第8区 (去勢肥育牛)	神無姫	福之姫	安福久 平茂晴	福島さくら	田村市大越町 坪井 徳幸	優等賞
出品 種牛 区	特別区 (高校・大学)	みこい 3	勝忠安福	美津照重 勝忠平	福島さくら	いわき市植田町 県立磐城農業高等学校	優等賞

和牛審査競技会

女性・後継者の部	J A ふくしま未来	渡邊 恋音	優 秀 賞
高 校 生 の 部	県立磐城農業高等学校	岡部美知留	最優秀賞



第2回 牛乳標語・川柳コンクール審査会 開催

福島県牛乳普及協会

去る11月8日コラッセふくしまにて、福島県牛乳普及協会主催（会長 紺野宏）第2回 牛乳標語・川柳コンクール審査会を開催しました。福島市立北信中学校 川名有香先生を審査員長に迎え、木幡和宏氏（県畜産課主任主査）、紺野宏会長、鈴木伸洋副会長が審査員を務めました。

県内中学校34校から595点の標語・川柳の応募があり、入賞30点を選出していただきました。「生徒たちが現在だけでなく、未来のことも考えて作っている作品や、地元の牛乳が美味しいという気持ちが伝わってくる作品もあり良かった」と、講評をいただきました。

～入賞作品のご紹介～

《 最 優 秀 賞 》

標 語

朝日浴び
牛乳飲んで
今日も元気に
いっぺんできます。

須賀川市立義務教育学校 稲田学園
一年 星野千夏さん

*牛乳を飲んで元気に過ごしたいという思いを込めて作りました。

川 柳

手にとって
飲めば飲むほど
いい笑顔

須賀川市立第三中学校
二年 岩谷芽依さん

*乳は、飲むとすかさず笑顔になります。それが伝わるように表現しました。「飲めば飲むほど」という言葉を印象に残るようにしました。

標 語

牛の愛
五臓六腑に
沁みわたる

南相馬市立加島中学校
三年 高屋菜央さん

*酪農家さんから、沢山の愛を注いでもらっている牛。その牛からいただける牛乳は、五臓六腑に沁みわたっているなのでこの作品にしました。



県内中学校 34 校から 595 点の
応募がありました！

《 優 秀 賞 》

標 語

なに飲もう
迷ったときは
牛乳だ

南相馬市立鹿島中学校
一年 多田和香菜さん

川 柳

大好きな
乳製品で
腸美人

南相馬市立鹿島中学校
二年 森 安南さん

標 語

牛乳を
飲んで目指すは
ハリウッド

福島市立福島第一中学校
三年 恩田結奈さん

標 語

父目指し
ミルクを飲んで
あと少し

西郷村立西郷第一中学校
一年 須藤有捺さん

川 柳

飲んでよし
料理に、デザート
大活躍

いわき市立入遠野中学校
二年 折笠大紀さん

標 語

運動後
疲れた時こそ
まず牛乳

会津坂下町立坂下中学校
三年 齋藤陽南梨さん

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいつく
はちみつはいかが！

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！

カーフトップEX ブラック



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

第33回 ミルキー図画コンクール審査会 開催

福島県牛乳普及協会

11月17日(木)には、福島トヨタクラウンアリーナにて、第33回ミルキー図画コンクール審査会を開催し、福島市立福島第一小学校 安齋俊彦先生を審査員長に迎え、3,553点の応募作品の中から50点を選出していただきました。

「このミルキー図画コンクールに関心を持ち、絵を描くことが好きな子供たちが応募してくれているのが伝わって

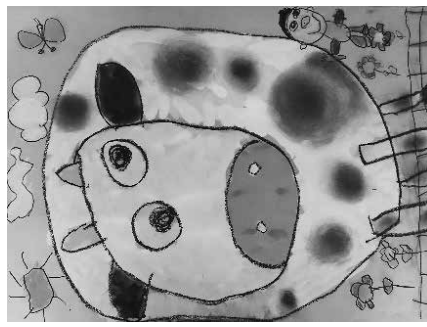
きた」と講評をいただきました。応募点数が昨年より約500点増え、審査も大変でした。

令和4年度も入賞作品展示会 開催予定です。ぜひ足をお運びください！

～入賞作品のご紹介～



年少の部：相馬市立大野幼稚園
最優秀賞 4歳 佐土原光希さん



年長の部：相馬市立大野幼稚園
最優秀賞 5歳 小野史也さん



低学年の部：郡山市立明健小学校
最優秀賞 1年 浅井大和さん



中学年の部：会津若松ザベリオ学園小学校
最優秀賞 3年 遠藤千尋さん



高学年の部：喜多方市立第三小学校
最優秀賞 6年 永井楓菜さん



審査風景



肥育前期に濃厚飼料を多給した去勢肥育素牛での短期肥育

福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場

畜産研究所沼尻分場では「福島県とJAグループ福島による福島県農産物競争力強化共同事業」及び「JAグループ福島寄附金」により平成30年度から黒毛和種去勢牛の短期肥育技術の開発に取り組んでいます。

今回は令和3年度に試験成果として公表しました「飼料切替時粗飼料多給及び肥育前期濃厚飼料多給による短期肥育技術の開発」についてご紹介いたします。

試験に用いた供試牛は沼尻分場産の黒毛和種去勢牛10頭で、全頭26カ月未満に出荷しました。10頭とも育成期から肥育期までの飼料切替期間（9-10カ月齢）には粗飼料を約6割、濃厚飼料を約4割（重量比）と粗飼料を多給した形としました（表省略）。その後、前期多給区と名付けた区には肥育前期（11-14カ月齢）に対照区と比べ濃厚飼料の割合を高めて給与しました。（表1）

表 1. 区の設定

粗飼料を 1 とした場合の濃厚飼料の割合（注1）					
飼料切替期（注2）		肥育期（注3）			
月 齢		前 期	中 期	後 期	仕上期
	9 ～ 10	11 ～ 14	15 ～ 20	21 ～ 23	24 ～ 25
前期多給区		7.0			
	0.64		8.8	9.1	11.9
対照区		5.4			

（注1）重量比。期間給与量合計。

（注2）育成用（TDN69.0%、CP16.0%）、肥育用（TDN72.3%、CP13.3%）、バイパスタンパク（TDN81.5%、CP43.6%）稲わら、オーツヘイ

（注3）肥育用（TDN72.3%、CP13.3%）、バイパスタンパク（TDN81.5%、CP43.6%）、稲わら

その結果、肥育前期における飼料摂取量は前期多給区の方が対照区に比べ9ポイント高くなりました。（表2）
体重及び飼料摂取量については両区とも順調に推移しました。（図1、2）

表 2. 肥育前期における飼料摂取量（Kg/頭）

	濃厚飼料	粗飼料
前期多給区	1057.1 (109%)	149.7 (99%)
対 照 区	969.5 (100%)	151.9 (100%)

（注1）重量比

（注2）括弧内は対照区を100%とした割合

図 1. 体重の推移

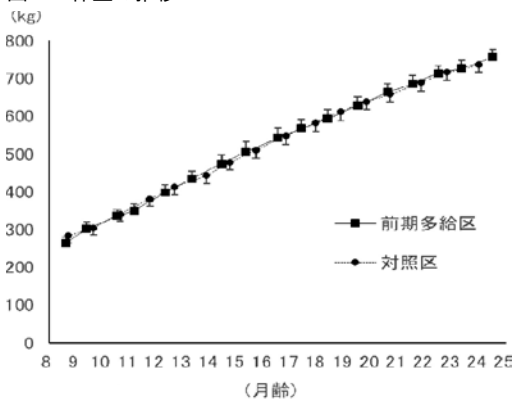
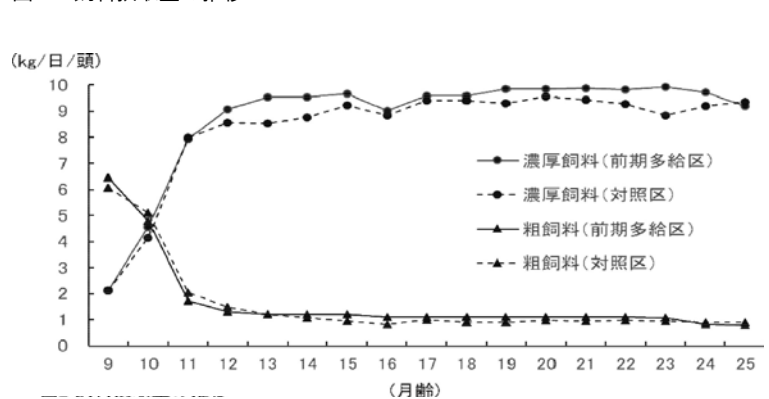


図 2. 飼料摂取量の推移



1 頭あたりの飼料費は前期多給区の方が対照区に比べ15千円ほど高くなりました。(表3)

表3. 1 頭あたりの総飼料摂取及び飼料費合計 (Kg、円 (税込) / 頭)

	飼料摂取量					飼料費	
	育成	オーツ	バイパス タンパク質飼料	肥育	わら	計	計
前期多給区 (n = 5)	32	288	62	4,409	554	5,345 (100)	306,830 (100)
対照区 (n = 5)	32	279	51	4,229	517	5,108 (96)	292,121 (95)
差	0	9	11	180	37	237	14,709

(注1) 9ヶ月齢から出荷までの合計

(注2) 飼料単価は育成 74、肥育 56、バイパスタンパク質飼料 195、稲わら 54、オーツヘイ 54 円 / Kg

(注3) 括弧内数値は前期多給区を 100 とした場合の比率

(注4) バイパスタンパク質飼料は飼料切替期間の粗飼料多給期間のタンパク質を補完する目的で給与

枝肉成績は前期多給区の皮下脂肪が対照区と比べ薄くなりましたが、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、歩留基準値、BMSNo.については差がありませんでした。また、

通常出荷の全国平均 (29.4カ月齢出荷:「令和2年度枝肉成績とりまとめ (独) 家畜改良センター」) と比べ同等の枝肉成績でありました。(表4、写真1、2)

表4. 枝肉成績

(単位: Kg, cm², cm)

	出荷 月齢	枝肉 重量	ロース 芯面積	バラ厚	皮下 脂肪	歩留 基準値	BMS No.	BMSNo. 内訳
前期多給区 (n = 5)	25.6	501.3	65	8.1	2.0	75.1	8	10 = 1 頭
	±	±	±	±	±	±	±	9 = 2 頭
	0.157	10.59	1.8	0.37	0.16 ^a	0.359	1	8 = 1 頭 6 = 1 頭
対 照 区 (n = 5)	25.2	485.0	64	8.2	2.4	74.9	8	11 = 1 頭
	±	±	±	±	±	±	±	9 = 2 頭
	0.287	16.02	4.2	0.27	0.14 ^b	0.579	1	6 = 1 頭 4 = 1 頭
(参考) 全国平均 (注1)	29.4	514	66	8.2	2.5	74.9	8	

(注1) 全国平均 (去勢)「令和2年度枝肉成績とりまとめ ((独) 家畜改良センター)」より

(注2) 平均値±標準誤差

(注3) 枝肉重量、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪、歩留基準値、BMSNo. について異符号間に有意差 (t-test, p<0.05)

以上のことから、短期肥育を行った両区とも枝肉成績は通常出荷と同等でありながら、飼料費を抑え肥育回転率を上げることで収益性を向上できると想定されました。(表5)

表5. 1 頭あたりの飼料費、肥育日数、飼育回転率 (円 / (税込)、日)

	飼料費	肥育日数	肥育回転率 (365日 / 肥育日数)
前期多給区 (n = 5)	306,830	501	0.73
対 照 区 (n = 5)	292,121	488	0.75
(参考) 全国平均 (注1)	334,711	627	0.58

(注1)「令和2年度畜産物生産費統計 (去勢若齢肥育牛1頭あたり (農林水産省))」より

なお、短期肥育は濃厚飼料の給与量のピークを前倒しするため、食い止まり、下痢、ビタミンA欠乏等について通常肥育に比べ早い段階から注意が必要です。

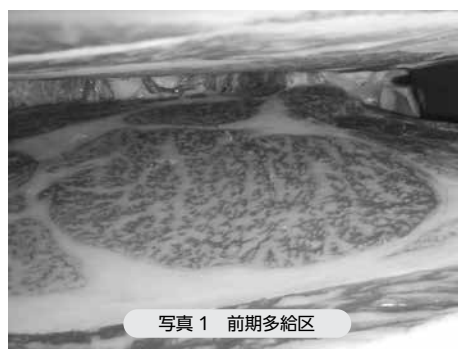


写真1 前期多給区



写真2 対照区

令和4年度 畜産フェア開催

福島県馬事畜産振興協議会

令和4年10月2日（日）に岩手県盛岡競馬場において、青森県、宮城県、岩手県、秋田県、山形県、福島県による「畜産フェア」を合同開催しました。

この畜産フェアでは地方競馬の普及啓発及び県産畜産物の消費拡大を目的に、競馬場来場者へ畜産加工物等の無料配布を行っています。

開門と同時に先着1,265名へ下記に記載する畜産加工品の引換券をランダムで配布しましたが、開門前から多くの来場者が並んでいたため、約25分で配布は終了しました。畜産加工品との引き換えは午前11時から午後17時まで行い、子供から大人まで多くの来場者に喜んでいただけたイベントになりました。



引き換えの様子

- | | | |
|-----|--------------------------------|---------|
| 青森県 | とわだ短角牛カレー | 150 個 |
| 宮城県 | 蔵王クリームチーズセット | 200 セット |
| 岩手県 | エルンテフェスト+エルンテフェストin厚切りあらびきステーキ | 200 セット |
| 秋田県 | 秋田牛カレー+男のホルモン(味噌味)+男のホルモン(塩味) | 150 セット |
| 山形県 | 米沢牛入さらみ+やまがた最上どりカルパス | 200 セット |
| 福島県 | ①福島牛ビーフカレー+酪王カフェオレロングパイ | 165 セット |
| | ②福島和牛ビーフシチュー+酪王カフェオレロングパイ | 165 セット |
| | ③福島牛ビーフカレー+福島和牛ビーフシチュー | 35 セット |

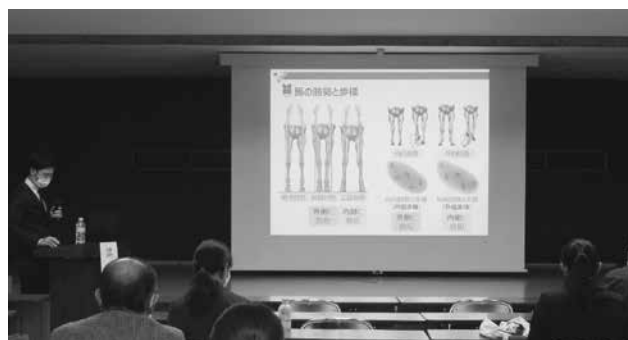
令和4年度 馬飼養衛生管理技術地方講習会開催

公益社団法人福島県畜産振興協会

11月14日、福島県土地改良会館で「令和4年度馬飼養衛生管理技術地方講習会」が開催され、県内の馬飼養関係者が参加しました。

今回は、日本中央競馬会 馬事公苑宇都宮事業所診療所 池田泰彦診療係長を講師に、「馬の運動器疾患について」について講習会を実施しました。池田泰彦診療係長からは、「馬の姿勢と歩様、診断方法、運動器疾患の種類、治療方法、予防方法、JRAの防疫」について説明がありました。

出席者からは演題に基づいた質疑応答や、意見交換が行われるなど実りある講習会でした。



馬飼養衛生管理技術地方講習会の様子



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩®E250TZ

動物 未来 みつめる ひろがる

ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
URL : www.zenoaq.jp

優良肉用子牛生産推進緊急対策事業発動状況

令和5年1月13日付けで機構より公表された全国平均価格は以下のとおりです。

その他の肉専用種について、全国平均価格が発動基準Bを下回ったため、3万円/頭の奨励金が発動します。

さらに、和子牛産地強化計画を作成した地域において、産地強化に資する前向きな取組メニューを行う生産者に対して、別途1万円/頭を追加で交付します。また、乳用種について、全国平均価格が発動基準価格Bを下回ったため、3万円/頭の奨励金が発動します。

令和4年12月分

(単位：円/頭)

品種区分		全国平均価格	奨励金の額	発動基準価格A (奨励金単価 1万円/頭)	発動基準価格B (奨励金単価 3万円/頭)
黒毛和種	北海道	664,278	—	600,000	570,000
	東北	645,492	—		
	本州関東以西・四国	666,081	—		
	九州・沖縄	637,821	—		
褐毛和種		591,350	—	550,000	530,000
その他の肉専用種		252,161	30,000(※)	350,000	340,000
乳用種		148,808	30,000	180,000	170,000
交雑種		342,194	—	300,000	290,000

※産地強化に資する前向きな取組メニューを行う生産者には、さらに1万円/頭を追加で交付。

注1：黒毛和種についてはブロック別の平均価格、その他の品種については全国平均価格を算出しています。

注2：その他の肉専用種については、令和4年6月～12月分までの販売データを用いて全国平均価格を算出します。

注3：価格は消費税込み

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種 (東北ブロック福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
令和4年10月	暫定単価	17,375.4	11,468.7	44,063.1
	概算払い単価	10,375.4	4,468.7	37,063.1
	精算払い単価	7,000.0	7,000.0	7,000.0
令和4年11月	暫定単価	0.0	3,924.0	39,222.0
	概算払い単価	0.0	0.0	32,222.0
	精算払い単価	0.0	3,924.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※令和4年7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)3631248

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)5531667

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎(024)4521464

株式会社アグロジャパン
南東北営業部(福島)
郡山市開成六丁目六七一
☎(024)9541471

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五一
☎(024)5771312

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(024)6312488

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

令和5年度 福島県家畜市場総合カレンダー

令和5年 4	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
5	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
6	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
7	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
8	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
9	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
11	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
12	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
令和6年 1	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
3	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜 日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月

※【全農福島】：J A全農福島 開催日 【県酪協】：福島県酪農協 開催日

家 畜 市 場 名	市場開設団体	電話番号【FAX】	取引家畜
福島県家畜市場(本宮市) 0243-39-2636 【FAX】39-2690 (市場は開設日のみ)	J A全農福島(家畜市場課)	【TEL】024-983-0570 【FAX】024-956-0420	和牛子牛・成牛・乳子牛
	福島県酪農業協同組合(購買畜産課)	【TEL】0243-33-4011 【FAX】0243-33-6983	毎月：肉用乳子牛 5・7・9・11・1・3月：妊娠牛・産子牛も併設
	(管理団体) 公益社団法人福島県畜産振興協会(業務課)	【TEL】024-573-0513 【FAX】024-573-0565	

※ 御購買・輸送等は開設又は上場組合にご相談ください。

全国農業協同組合連合会 福島県本部 福島県酪農業協同組合 公益社団法人 福島県畜産振興協会

家畜取引状況報告

令和4年11～12月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
11	雌	309	1,325,500	215,600	585,236	291	2,014	290	152	157
	雄	1	381,700	381,700	381,700	310	1,231	290		
	去勢	383	1,233,100	287,100	701,455	320	2,195	284	201	182
	計	693	1,325,500	215,600	649,173	307	2,117	286	353	339
12	雌	355	1,219,900	68,200	629,879	288	2,189	285	125	230
	雄									
	去勢	459	1,108,800	68,200	710,538	315	2,256	278	234	225
	計	814	1,219,900	68,200	675,361	303	2,228	281	359	455

令和4年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
11月 第325回	ホル雄	73	79,200	1,100	45,175
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	70	246,400	1,100	130,539
	F ₁ 雄	74	235,400	1,100	148,723
	和牛雌	8	449,900	298,100	389,400
	和牛雄	18	513,700	311,300	457,661
	計・平均	244	513,700	1,100	142,603
12月 第326回	ホル雄	60	73,700	1,100	38,115
	ホルフリー				
	F ₁ 雌	74	140,800	1,100	69,449
	F ₁ 雄	100	235,400	1,100	100,540
	和牛雌	3	430,100	315,700	380,967
	和牛雄	24	540,100	235,400	426,617
	計・平均	261	540,100	1,100	110,582

令和4年11～12月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
11	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	5	403,700	72,600	272,800	3,686	74
	E T 和雄	8	534,600	441,100	481,800	4,700	103
	乳雌牛						
	乳雄牛	17	79,200	11,000	48,077	657	73
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	38	170,500	1,100	98,450	1,334	74
	F ₁ 雄(スモール)	37	222,200	14,300	133,575	1,755	76
	計・平均	105	534,600	1,100	140,182	1,827	77
12	乳登	1	160,600	160,600	160,600		
	妊娠牛	1	451,000	451,000	451,000		
	E T 和雌	6	462,000	253,000	358,234	3,838	93
	E T 和雄	6	520,300	390,500	467,500	4,568	102
	乳雌牛						
	乳雄牛	16	47,300	1,100	15,194	202	75
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	42	149,600	2,200	71,997	965	75
	F ₁ 雄(スモール)	51	204,600	8,800	102,538	1,299	79
	計・平均	123	520,300	1,100	114,329	1,475	78

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子

福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(2月)

日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火
ニュートラック福島	川崎						笠松	船橋						浦和							大井							川崎
オーブス磐梯	川崎						船橋							浦和							大井							川崎

(3月)

日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金
ニュートラック福島	川崎						大井							水沢	名古屋	船橋					水沢	浦和						水沢	名古屋	大井	
オーブス磐梯	川崎						大井							船橋							浦和							大井			



※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会